

令和4年度 第1回 沖縄観光 2 次交通の利便性向上に向けた検討委員会

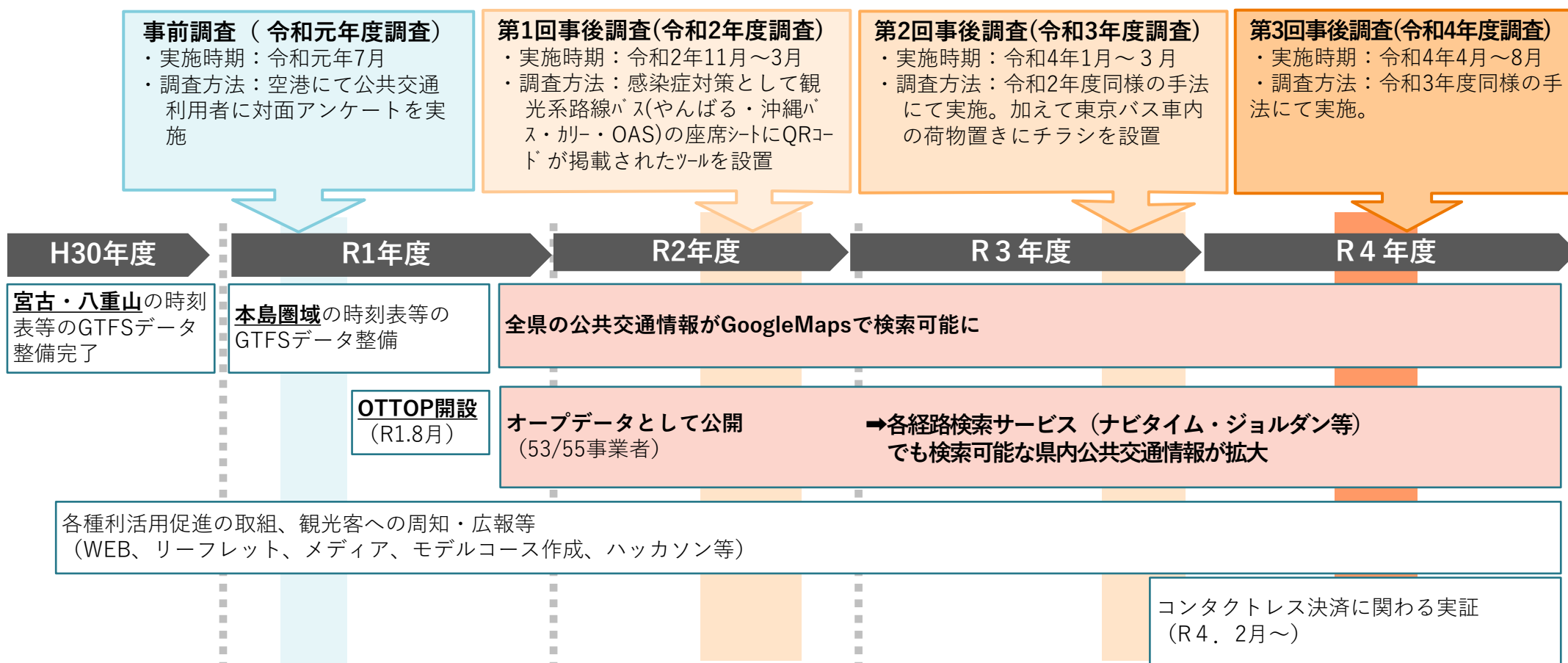
オープンデータ化に伴う効果検証

(観光客へのアンケート結果等)

令和 4 年 9 月 30 日

①観光客アンケート

- ❖沖縄本島に訪れ公共交通を利用した観光客に対し、公共交通の情報収集に対する不便・不満の有無やその理由等を把握するためのアンケート調査を実施する。
- ❖これまで効果検証（アンケート調査）として、令和元年度に事前調査（データ整備前）を実施し、令和2年度と令和3年度に事後調査（データ整備後）を実施しており、今回調査は3回目の事後調査となる。
- ❖調査方法については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き観光系路線バスの座席ポケットにQRコードを記載したツールを設置する調査とした。なお、令和元年度は那覇空港における対面調査（公共交通利用者対象）にて実施しているため、調査手法の違いによる影響が想定される箇所については補足を記載している。



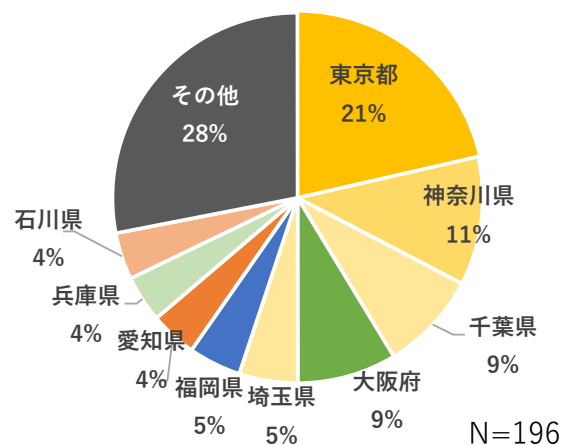
今年度（R4年度）の調査概要

項目	内 容
調査目的	・ 沖縄本島に訪れ公共交通を利用した観光客に対し、公共交通の情報収集に対する不便・不満の有無やその理由等を把握するためのアンケート調査を実施する。 ➡令和4年2月よりコンタクトレス決済の実証実験に対する設問も確認
調査対象	・ 沖縄本島を訪れ、公共交通を利用した国内外観光客
調査時期	・ 令和4年4月1日～8月31日 参考：令和元年度調査（事前調査）：令和元年7月 令和2年度調査（第1回事後調査）：令和2年11月～令和3年4月 令和3年度調査（第2回事後調査）：令和4年1月～令和4年3月
調査方法	・ 新型コロナ対策として、観光系路線バスの車内にQRコードを掲載したA4サイズのツールを設置し、WEBにて回収。 参考：令和元年度調査（事前調査）：那覇空港において公共交通利用者に対し対面にてアンケートを実施 令和2年度調査（第1回事後調査）：観光系路線バスにQRコードを設置（今回同様）
調査ツール 設置箇所	・ 沖縄バス（空港リムジン）、沖縄エアポートシャトル、やんばる急行、カリー観光の車内座席シートに設置 ・ 東京バスはチラシとして車内の荷物置き場に設置（東京バスは今年度より実施）
回収状況	・ 1263サンプル（令和4年4月1日～8月31日 県内客を除く）
調査項目	・ 個人属性（年齢・性別・発地） ・ 公共交通情報の収集・検索方法 ・ 公共交通情報を収集・検索する上で困ったこと、路線バスを使った理由

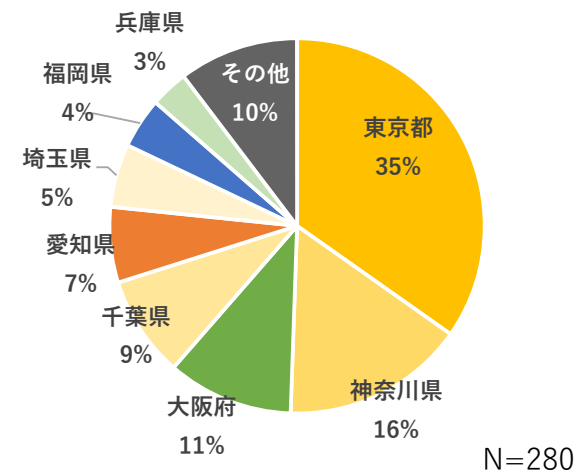
（１）基本情報

①居住地

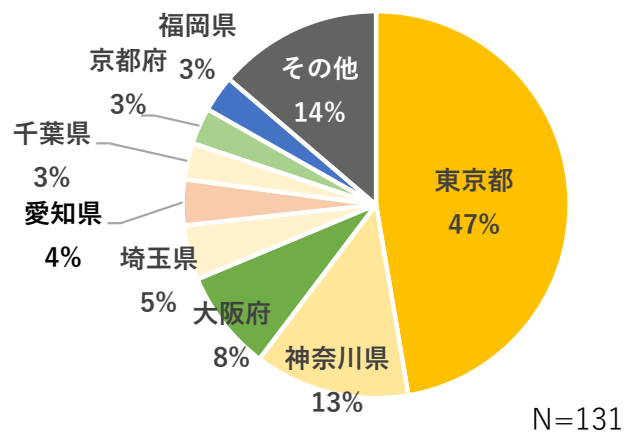
令和元年度調査



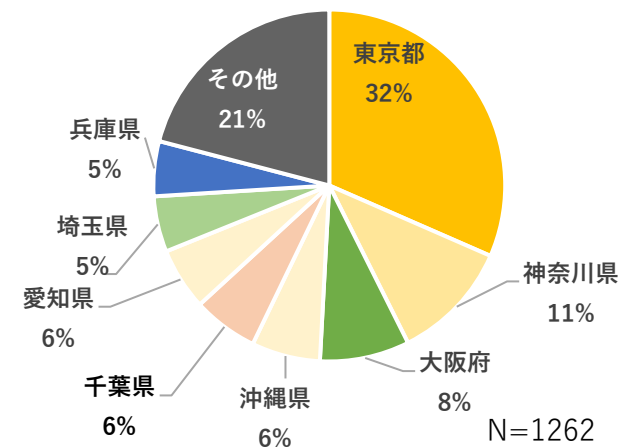
令和2年度調査



令和3年度調査



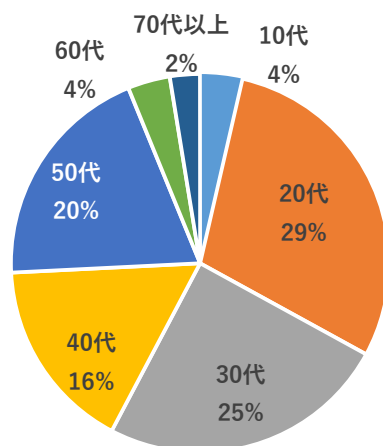
令和4年度調査



(1) 基本情報

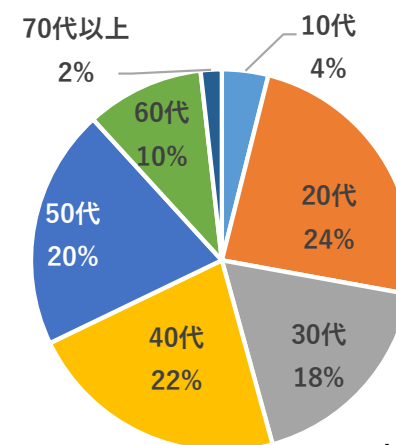
②年代

令和元年度調査



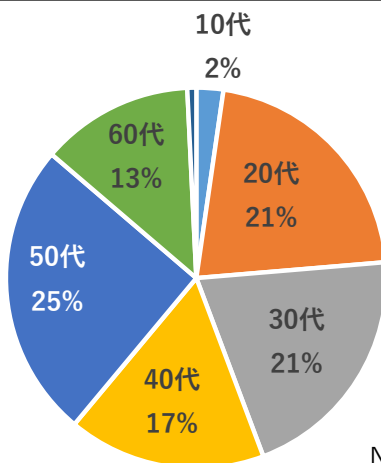
N=194

令和2年度調査



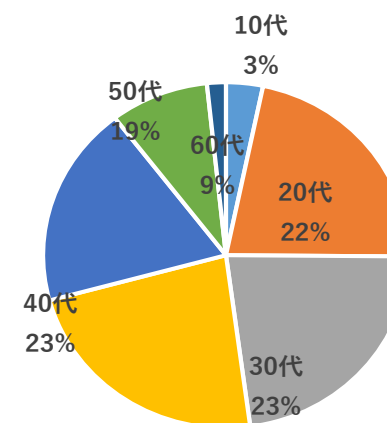
N=280

令和3年度調査



N=131

令和4年度調査

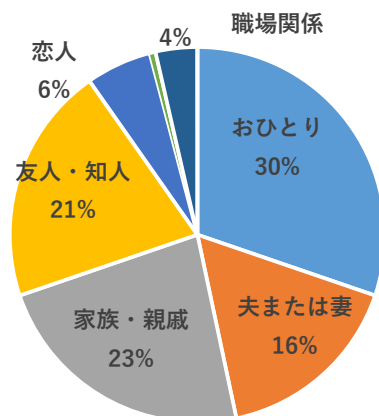


N=1262

(1) 基本情報

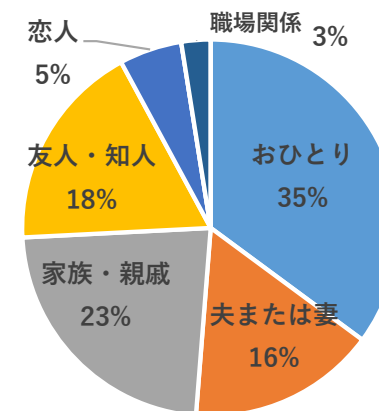
③同行者

令和元年度調査



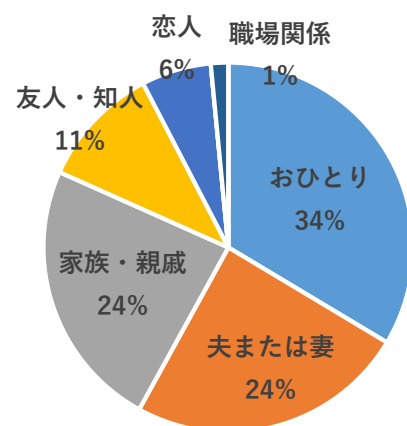
N=196

令和2年度調査



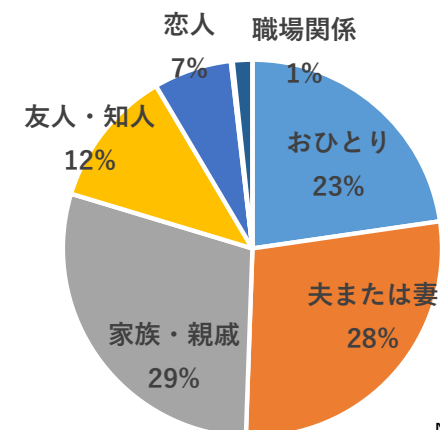
N=280

令和3年度調査



N=131

令和4年度調査

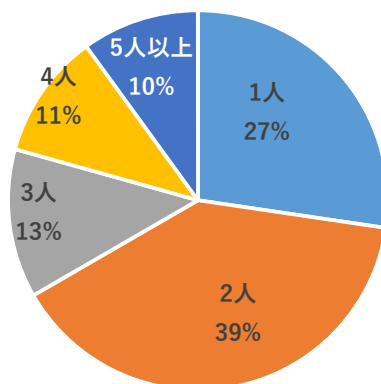


N=1260

(1) 基本情報

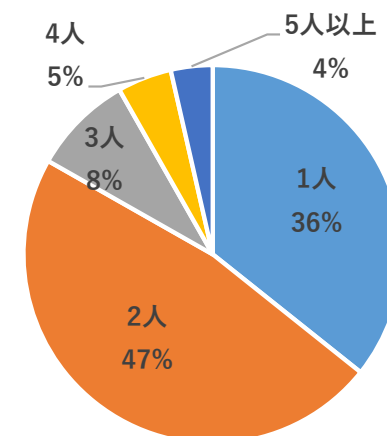
④同行人数（自身を含む）

令和元年度調査



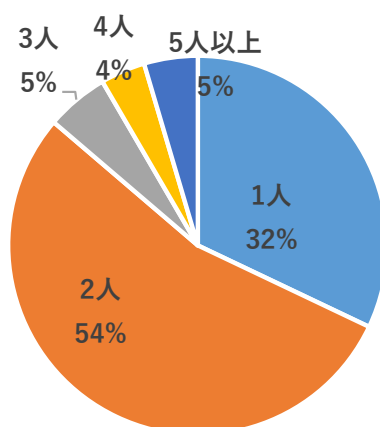
N=196

令和2年度調査



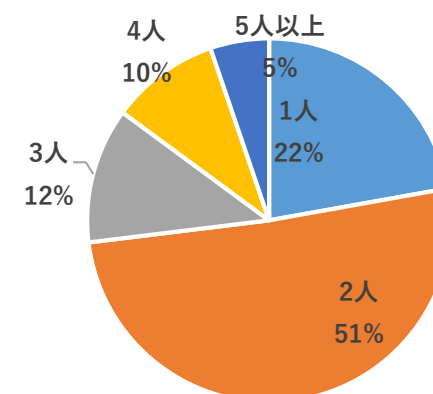
N=280

令和3年度調査



N= 131

令和4度調査

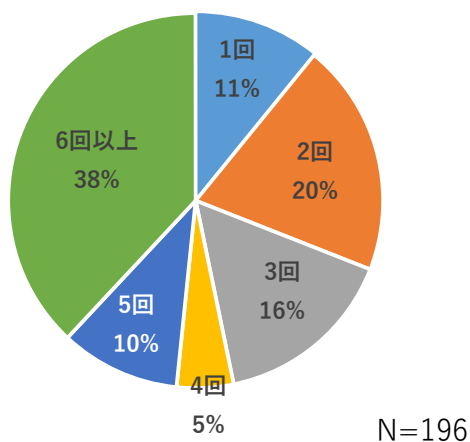


N=1262

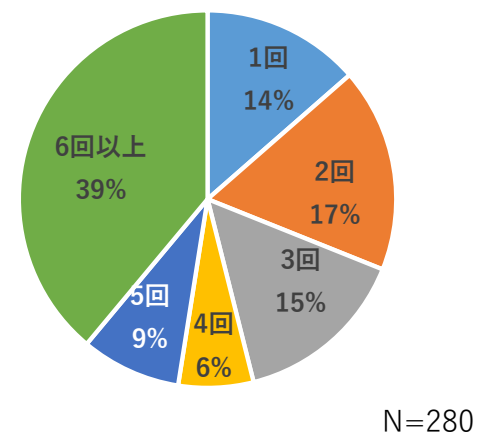
(1) 基本情報

⑤今回を含めた沖縄への来訪回数

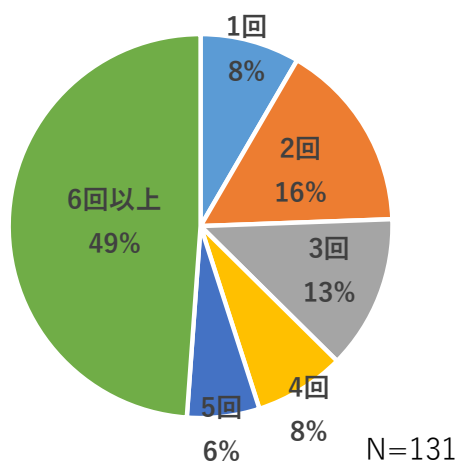
令和元年度調査



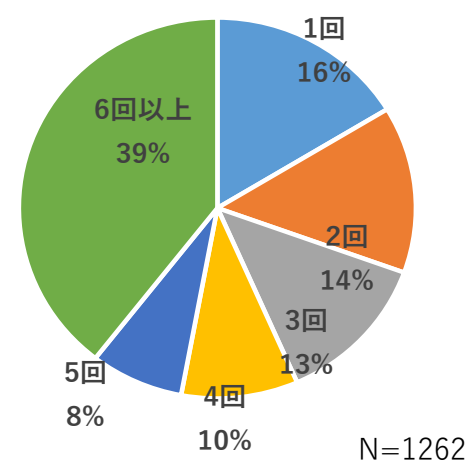
令和2年度調査



令和3年度調査



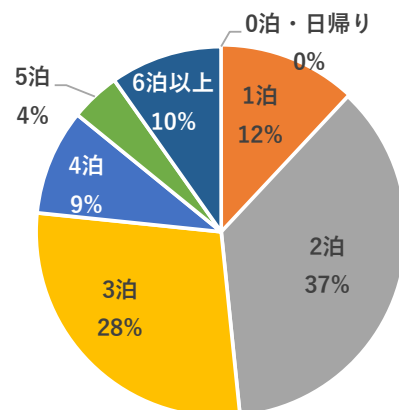
令和4年度調査



(1) 基本情報

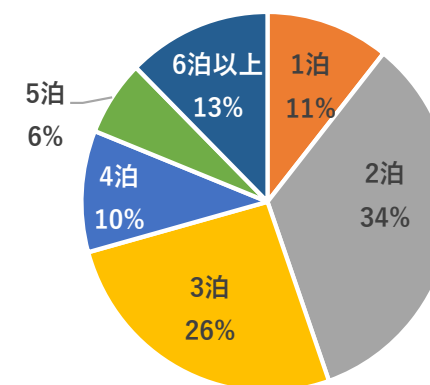
⑥今回の旅行における宿泊数

令和元年度調査



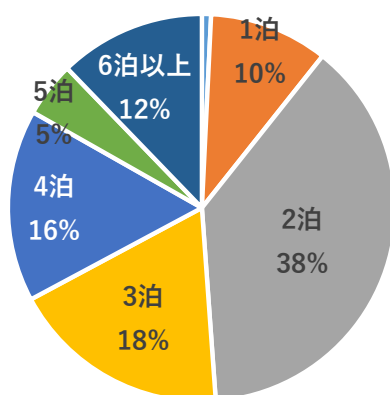
N=196

令和2年度調査



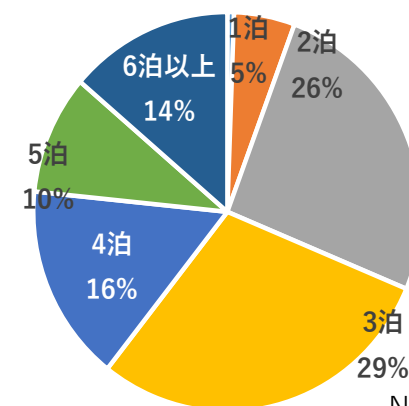
N=280

令和3年度調査



N=131

令和4年度調査

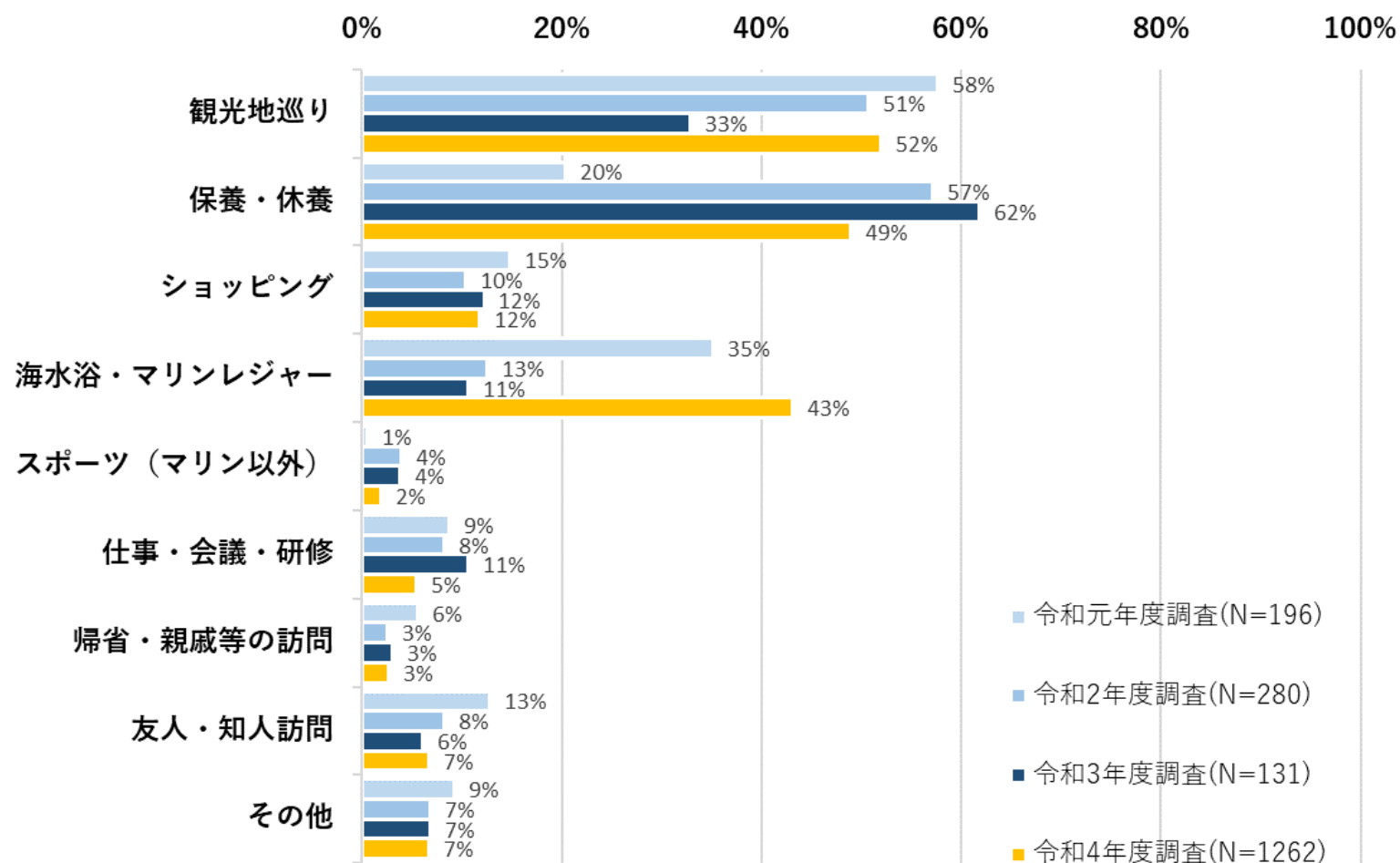


N=1262

(2) 観光行動・移動手段等

①今回における来訪目的

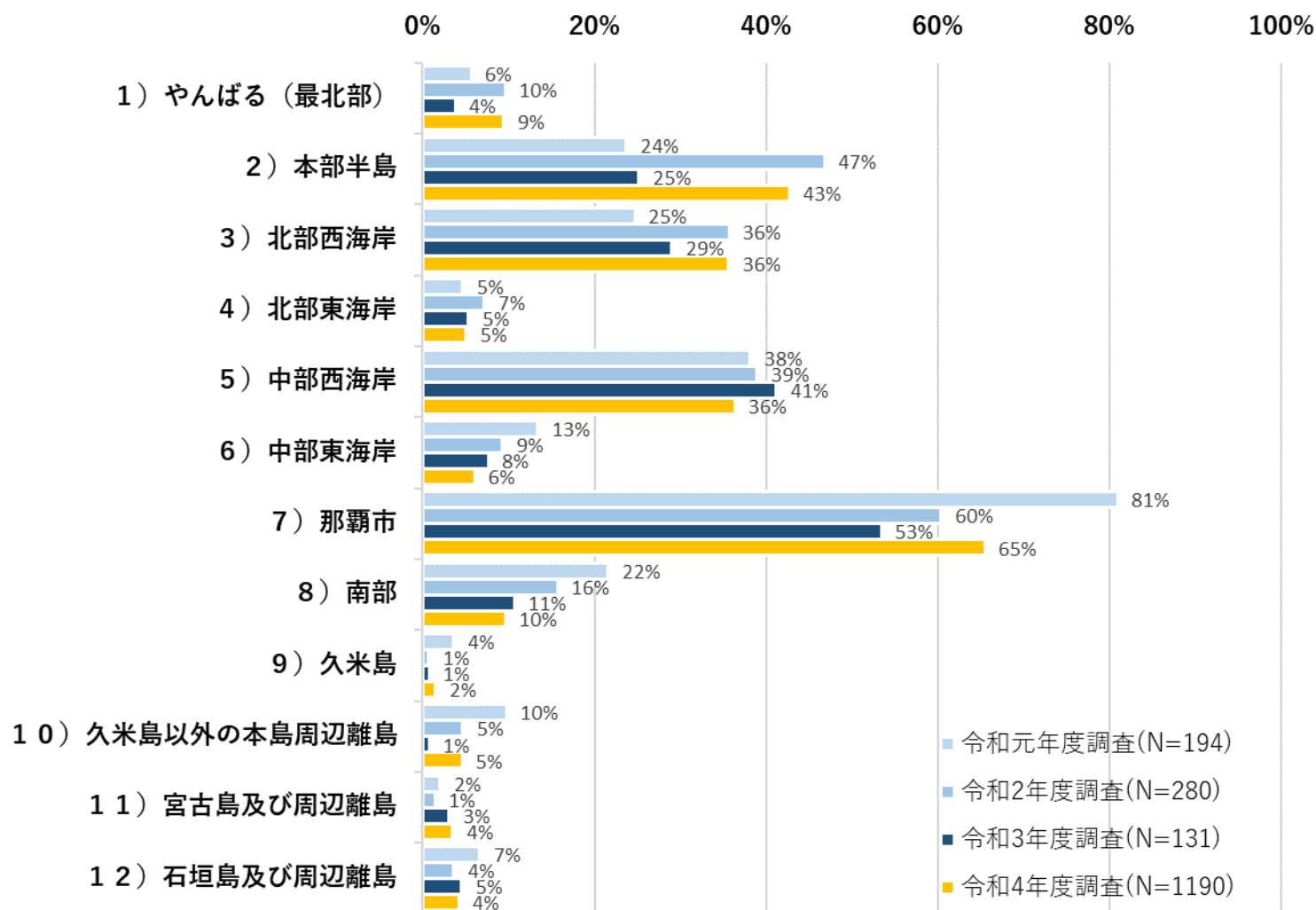
- ◆令和4年度は、「観光地巡り」の割合が最も高く52%、次いで「保養・休養」が49%となっている。
- ◆令和4年度は令和3年度より「海水浴・マリンレジャー」が32pt増加、「観光地巡り」が19pt増加している一方で、「保養・休養」が13pt減少している。その他は概ね令和2年度と同様の傾向となっている。



(2) 観光行動・移動手段等

②訪れた地域

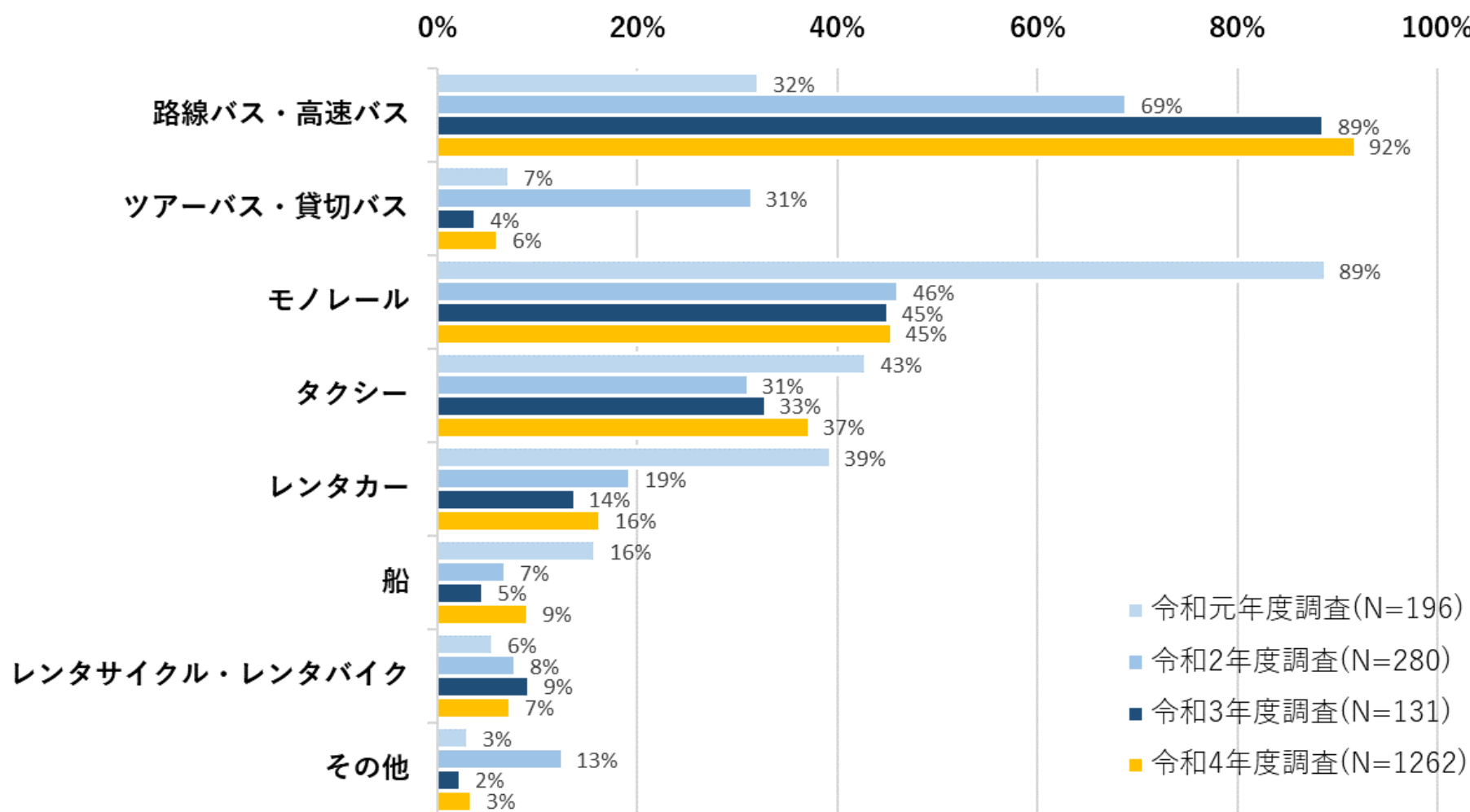
- ◆令和4年度は、「那覇市」に訪れた割合が最も高く65%、次いで「本部半島」「中部西海岸」「北部西海岸」が続く。
- ◆「本部半島」への訪問は令和3年度より18pt増加している。「那覇市」への訪問は、令和3年より12pt増加している。



(2) 観光行動・移動手段等

③旅行中に県内の移動で使した交通機関

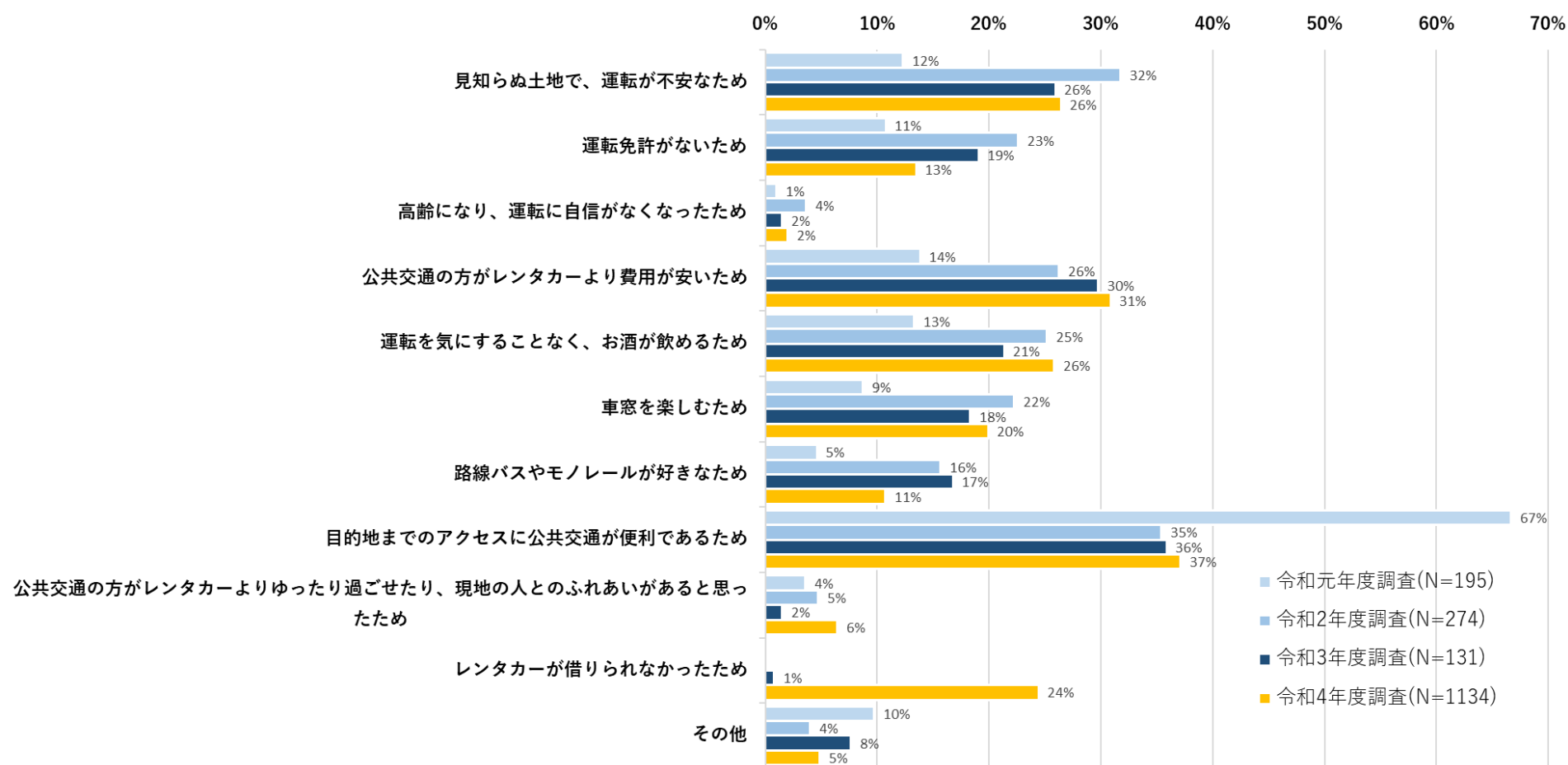
- ◆令和4年度は「路線バス・高速バス」の割合が最も高く92%となっている。
- ◆また、令和2年度以降は観光系路線バス内において調査票を設置しているため、「路線バス・高速バス」が令和元年度より増加していると推察される。



(2) 観光行動・移動手段等

④ 今回の旅行で公共交通（路線バス、モノレール）を利用した理由

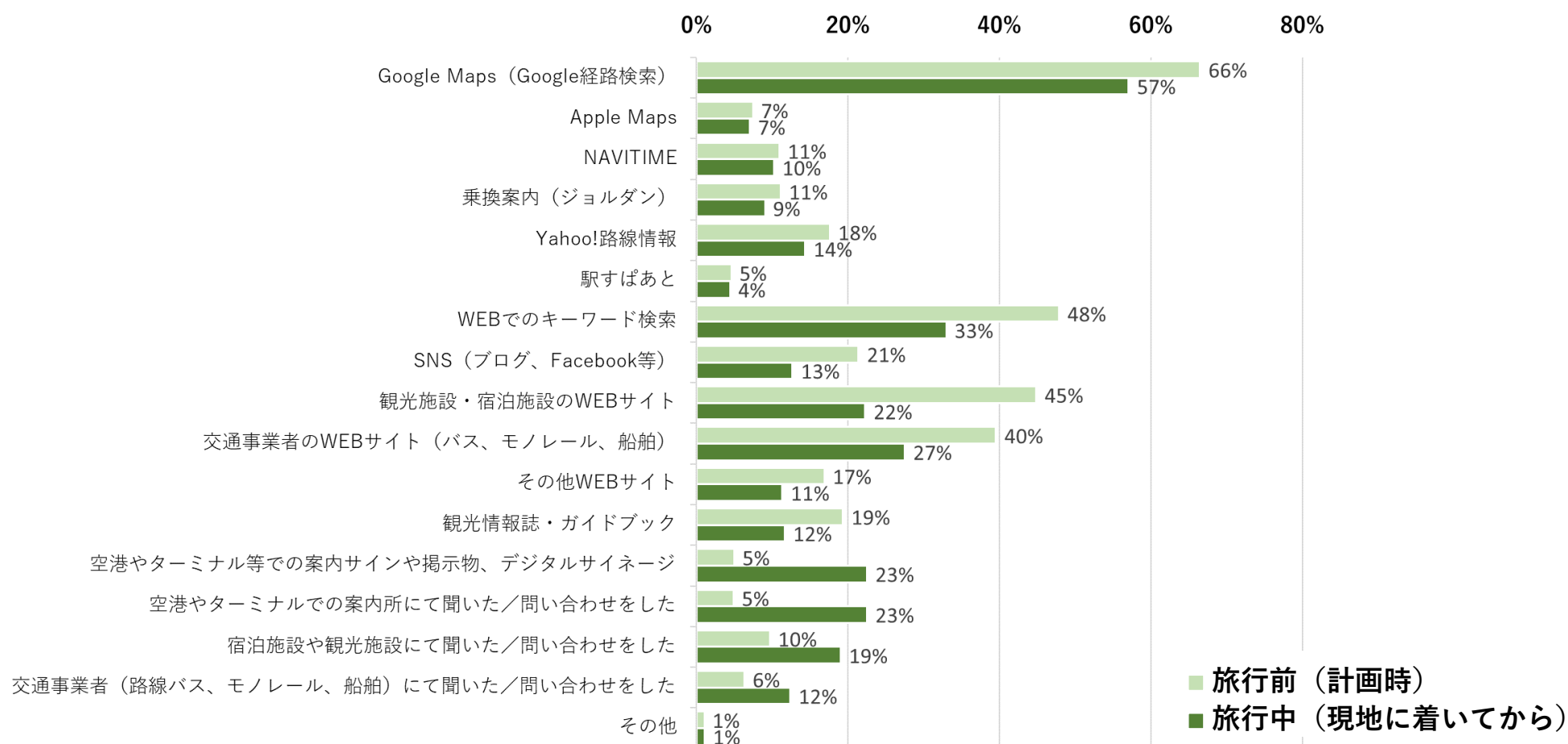
- ◆令和4年度は「目的地までのアクセスに便利であるため」の割合が最も高く37%であった。次いで、「費用が安いため」、「運転を気にすることなくお酒が飲めるため」「見知らぬ土地で、運転が不安なため」が続く。
- ◆令和4年では、「レンタカーが借りられなかったため」が令和3年度より23pt増加している、レンタカー不足が要因だと考えられる。



(3) 公共交通の情報収集 (R4 年度)

①観光地への行き方・時刻等の公共交通情報の収集・検索方法

- ◆公共交通情報の収集・検索方法については、Googleマップの利用が、令和3年度に比べると旅行前・旅行中ともに7pt増加している。
- ◆旅行前の収集・検索方法として、WEBでのキーワード検索、WEBサイト、観光情報誌・ガイドブック等が多く、R3年度と同様の結果となった。
- ◆旅行中の収集・検索方法として、現地の各種案内（サイネージ、窓口での問い合わせ）が多く、R3年度と同様の結果となった。

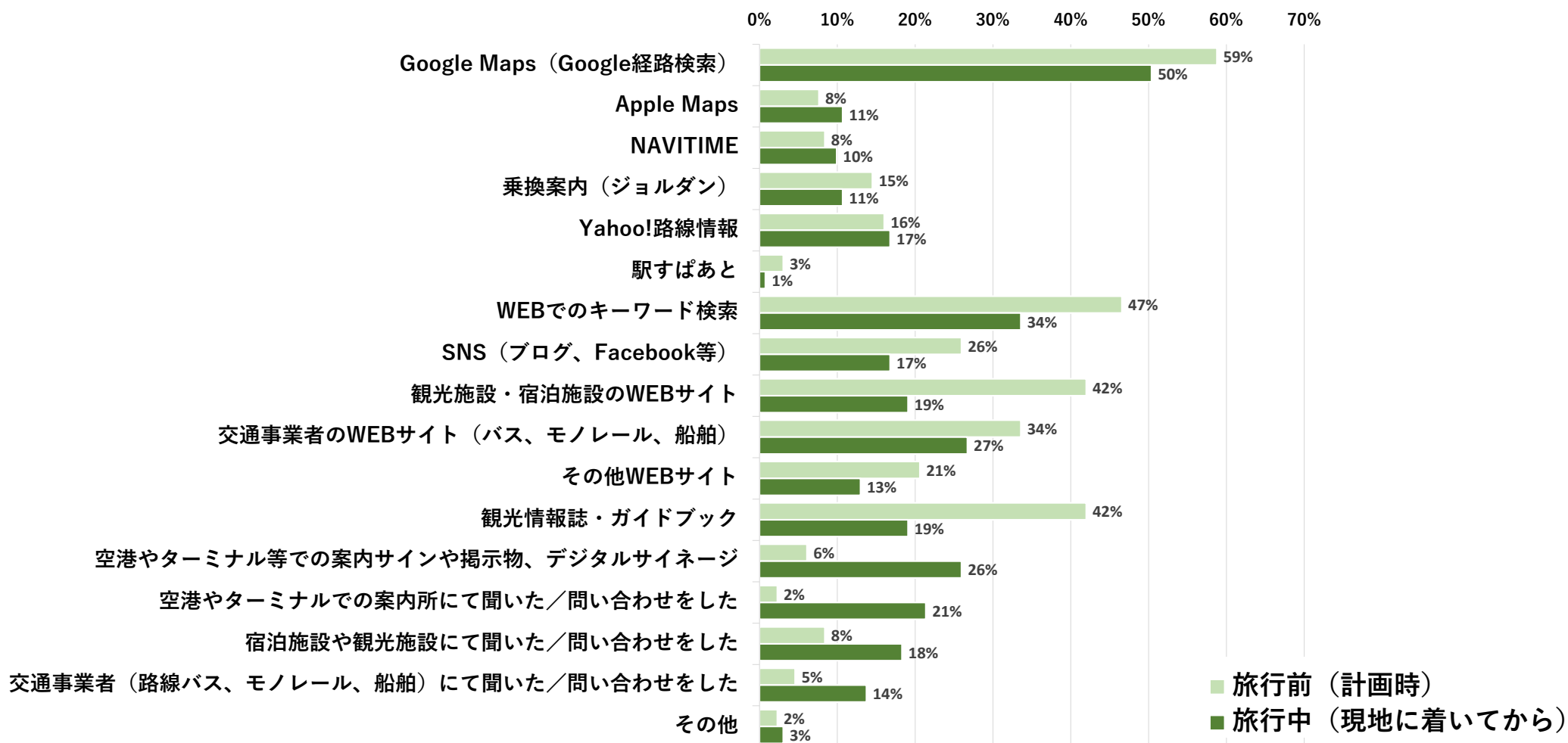


N=1262

(3) 公共交通の情報収集

①観光地への行き方・時刻等の公共交通情報の収集・検索方法

(参考) R3 年度結果



N=131

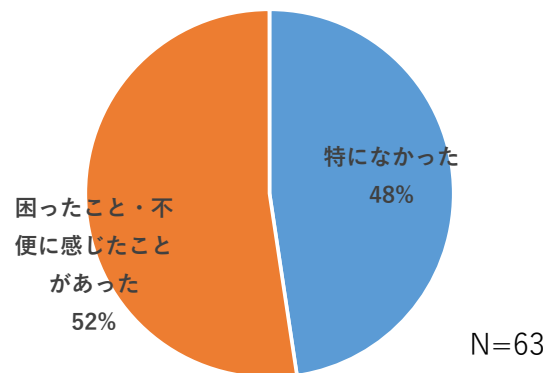
(3) 公共交通の情報収集

②公共交通情報を収集・検索する上で困ったことや不便に感じたことの有無

◆不便に感じた方の割合は令和3年度からは3pt減少、令和元年度からは19pt減少している。

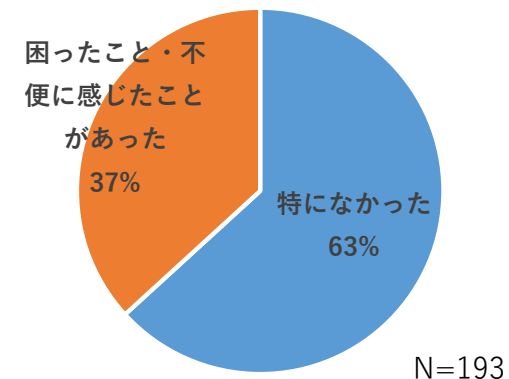
令和元年度調査

(路線バスを選択した方のみ)



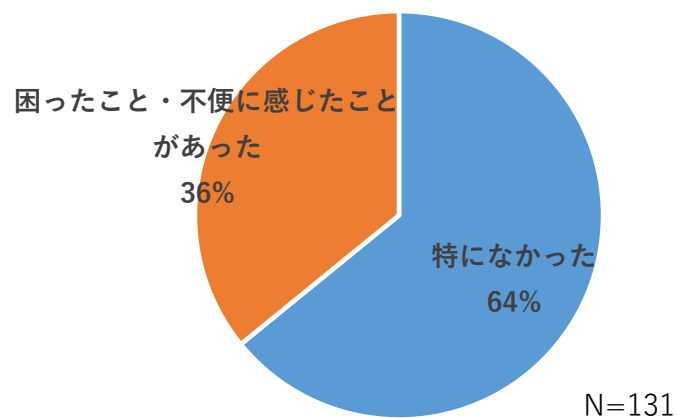
令和2年度調査

(路線バスを選択した方のみ)



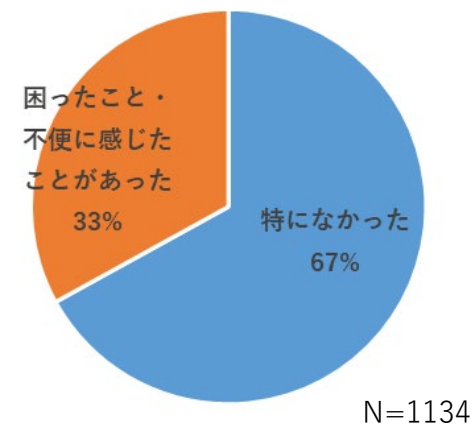
令和3年度調査

(路線バスを選択した方のみ)



令和4年度調査

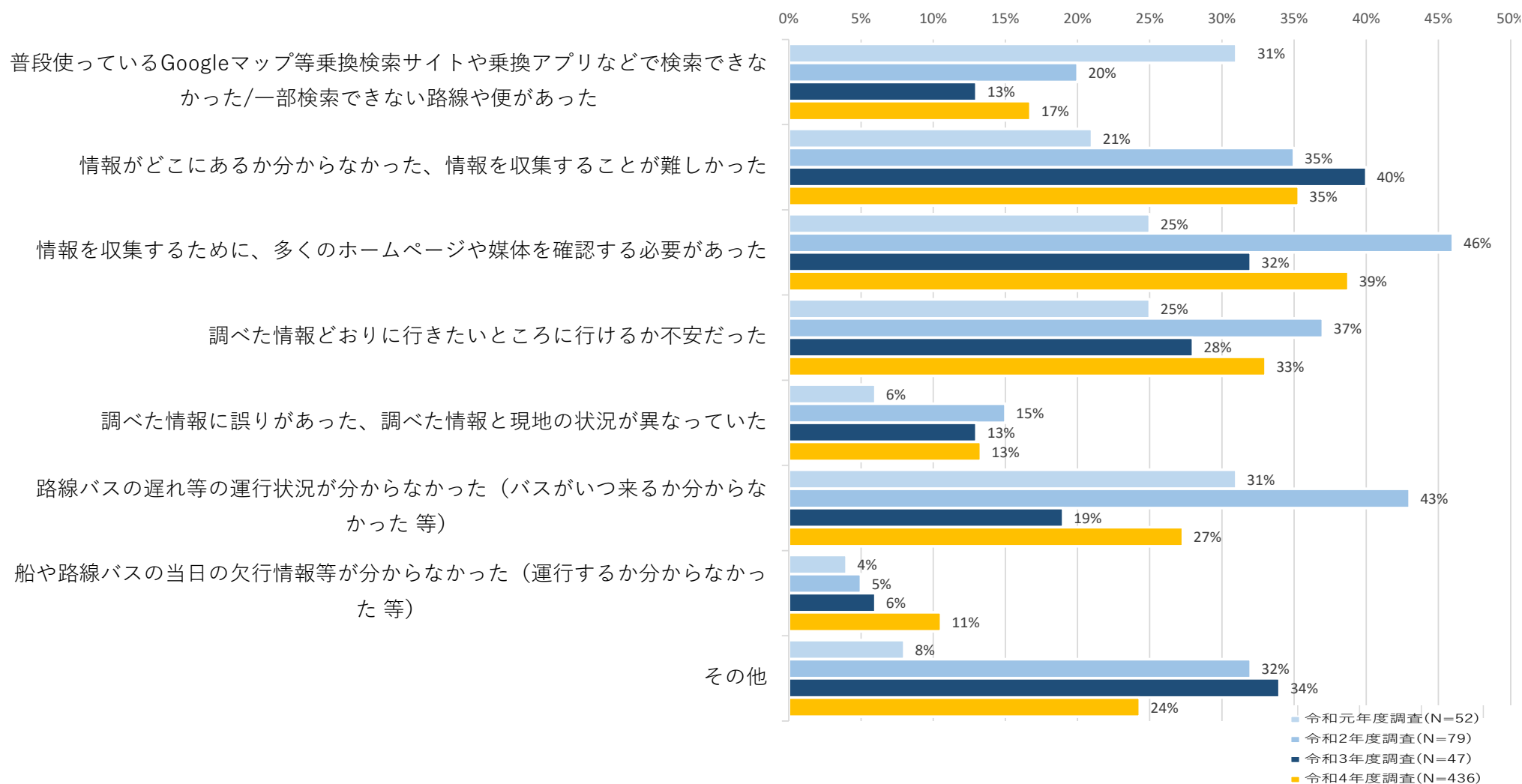
(路線バスを選択した方のみ)



(3) 公共交通の情報収集

③困ったことや不便に感じた内容（困った・不便に感じた方のみ回答）

- ◆令和4年度では、路線バスの遅れ等の運行状況がわからなかったが8pt増加、情報を収集するために多くの媒体を核にする必要があったが7pt増加した。
- ◆その他では、バスの運行情報がわからなかった、バスの乗り場がわかりにくいなどの意見が多かった。

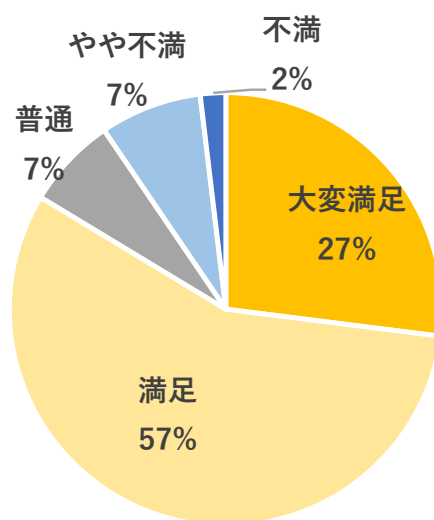


(4) 公共交通を利用した観光の満足度・大切な点等

①今回の公共交通を利用した観光の満足度

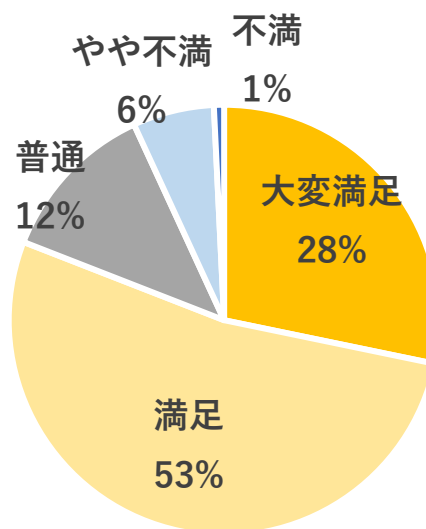
◆一昨年度より実施している公共交通を利用した観光の満足度については、大変満足・満足の割合はほぼ同様であった。

令和2年度調査



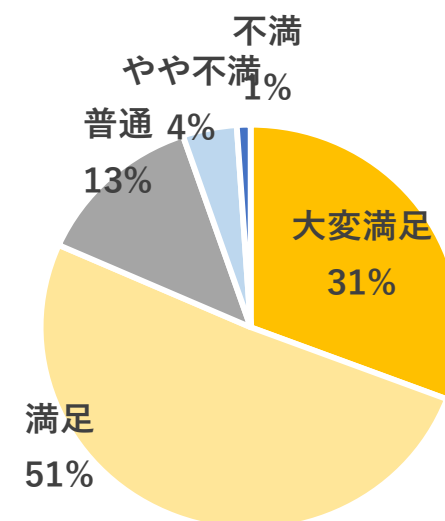
N=182

令和3年度調査



N=131

令和4年度調査

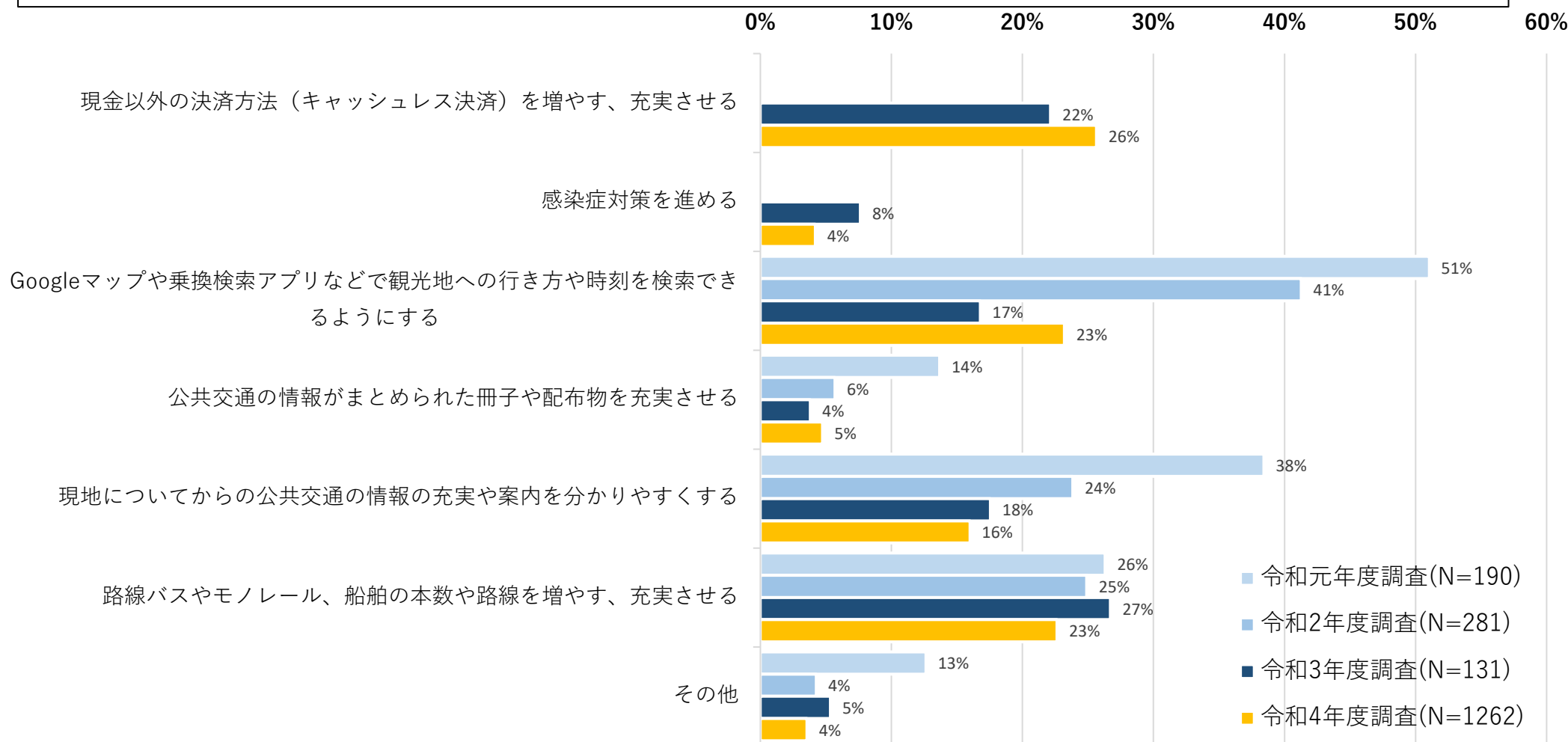


N=1262

(4) 公共交通を利用した観光の満足度・大切な点等

②公共交通を利用した観光を促進するうえで、最も大切だと思われる点（単数選択）

- ◆昨年度より新たに追加した「現金以外の決済方法を増やす・充実させる」が最も高く26%。
- ◆「Googleマップや乗換検索アプリなどで観光地への行き方や時刻を検索できるようにする」については、昨年度に比べると6pt増加しているが、令和元年度に比べると28pt減少している。
- ※ただし、昨年度より選択肢として、「現金以外の決済方法を増やす」「感染症対策を進める」を設問として追加している。本設問は単数回答のため、昨年度よりの既存の選択肢の回答率は下がっていることに留意。



(4) 公共交通を利用した観光の満足度・大切な点等

③公共交通を利用した観光において、感染症の観点から効果的だと思う取り組みについて

- ◆本設問は昨年度より、観光客の思う効果的な感染症対策を把握するために新規追加した。
- ◆R4年度では、「車内・船内の換気」が最も64%と高く、次いで、「消毒の徹底」、「キャッシュレスの導入」、「マスク着用などのマナー徹底」が続く。R3年度と比べると全体的に減少傾向にある。

